



協定書を交わす先山市長(右)と三井田学科長＝26日、香芝市役所

元気な街つくろう

香芝市と
畿央大 健康など連携協定

香芝市と、隣接する広陵町にキャンパスを持つ畿央大学が連携協力する協定が二十六日、香芝市役所で締結された。健康科学部と教

育学部を持つ畿央大の特色を生かして、高齢化社会への対応や成人病予防のための共同の取り組みなどを推進していく。

先山昭夫市長は「大学には多くの人的資源、知的資源が集まっており、この力をお借りして、まちづくりに生かしていきたい」とあ

いさつ。畿央大の冬木智子学長の代理で協定書を交わした三井田康記健康科学部人間環境デザイン学科長は「当大学は総合的な健康を志向している。協定は開かれた大学として地域に協力できるチャンスととらえた」と話した。

香芝市と大学との協定は昨年四月の大阪樟蔭女子大学に続いて二校目。